



発寒ひかり  
保育園だより

2025年  
3月号

巻頭言

今シーズンは少ない雪で終わるかと思いきや、帳尻を合わせるかのように例年通りに雪が積まりました。しかし、気温は着実に上がり、春が近づくと共に卒園の時期も迫ってきました。

卒園を迎えるきりん組の子どもたちは、ちょうど生まれてから少しして新型コロナウイルス感染症が出始め、色々な事に制限が掛けられた時を過ごし、その後、もとの様な日常が戻ってきたどちらも経験をした子どもたちです。人と人が触れ合い、交じり合っていて関わることでしか味わえない醍醐味（摩擦も含めて）が本当に大切である事を改めて感じた日々でもありました。

少し前ですが、あるTV番組で視聴者の方からの質問に歌手のAIさんが「幼稚園の先生が『朝弁当作って着替えさせて時間内に送る、これだけでもう70%できてます』って。」と答えており、強く共感させられました。渦中にいると永遠に終わらない感があったり、一生懸命頑張っているのに、当たり前と思われているような気がしてしまったり…。保護者の皆さまには、日々の奮闘お疲れさまですという思いと共に、ありがとうございますという感謝の気持ちで一杯です。

これから保護者の皆さまに、少しでも寄り添い、子育ての大変さも喜びも分かち合う事が出来る職員一人ひとりでありたいと願います。

園長 阿部 尚子